

和歌山市立有功東小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域を流れる川「千手川」と県を横断する川「紀の川」について、川が人々の暮らしと深く関わっていることを理解し、ふるさとを流れる川に愛着をもつことをねらいにして取組を行った。子供たちは千手川に何度も調査に出かけ、生き物や川沿いの歴史を調べたり、川沿いを歩いて、人にインタビューを行ったりした。地域の川が多くの人に親しまれ、また、大切にされていることに気づいた。紀の川の学習では、上流の奈良県川上村、下流の和歌浦を訪ね、上流から下流までつながっていることにより、それぞれの場所での生活があり、産業が支えられていることに気づいた。また、関わった人との対話から、住む場所が違っていても、地域に対する思いが共通していることに気づき、子供たちも自分の地域を大切にしようという思いをもった。</p>	
-------------------------------	--	---

和歌山市立楠見西小学校

<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>和歌山の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の学習、体験を通し、その価値を継承する次世代を育成し、和歌山に対する理解を深めることを目的として、世界遺産学習・現地学習の取組を行った。高野山での現地学習では、道普請（みちぶしん）を行い、保全活動に関わらせていただいた。先人の残してくれた遺産を守っていくために、多くの人たちが協力し様々な取組を行っていることを知ることができた。また、和歌山に対する興味関心が高まり、愛着が深まった。</p>	
-------------------------------	---	--

和歌山市立安原小学校

<p>6年生 道徳科</p>	<p>安原地区に飛来するコウノトリについて、専門家の方を招き、講演をしていただいた。コウノトリの特徴や生態について知ることができた。美しい自然が残る安原地区だからこそコウノトリがやってくるのだと知り、安原地区に対する愛着を深めることができた。</p>
--------------------	---

和歌山市立三田小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>総合的な学習の時間の「米作り体験」を通して、子供たちが「いのち」のつながりを感じ、地域・学校・家庭の交流が身近なものになることをねらい、地域の田んぼを借りての「米づくり」に取り組んだ。 粳まきに始まり、田植え、稲刈り、脱穀、なわない、もちつきと1年間を通じて、地域の農家の方に講師になっていただき、手取り足取り教えていただいた。スタートしたばかりの頃、農業はしんどい、汚い、臭いなど良いイメージをもっていなかった子供が多かったが、体験や講習を通して、楽しさや喜び、苦労や工夫を感じ取り、勤労の大切さも感じたようであった。周囲を水田に囲まれたのどかな地域「三田」の良さが実感となって、子供たちの心に残る学習となった。</p>	
-------------------------------	---	---

和歌山市立山口小学校

<p>1年生 生活科</p>	<p>地域の山口神社を教材にし、地域の歴史や伝統、そこに関わる人々の願いを知り、ふるさとに対する理解を深め、郷土愛を育むことをねらいに取組を行った。</p> <p>山口神社において「茅の輪くぐり」の行事に参加した。宮司さんより、行事の由来、地域の歴史などについて説明を聞き、輪のくぐり方の作法を学んだ。そして各自、無病息災を願いながら輪くぐりを体験した。また、子供たちは、どんぐり拾いに行ったり、写生に行ったりと、折にふれ神社へ出かけていき、ふるさとに対する愛着を深めている。</p>	
--------------------	--	---

和歌山市立加太小学校

<p>1年生 生活科</p>	<p>南海加太線の「めでたいでんしゃ」を教材に取り扱った。観光列車のピンク色の「さち」と水色の「かい」の結婚セレモニーがあったことから、「次は赤ちゃんのたいでんしゃができるかな。」というところから始まった。加太をイメージして、内装や外装を考え、その自分の考えをペアグループ、全体へと伝え、最後は全体で話し合いながら、決まったものを段ボール等を用いて自分たちの考えた赤ちゃんたいでんしゃを作っていた。</p>	
--------------------	---	---

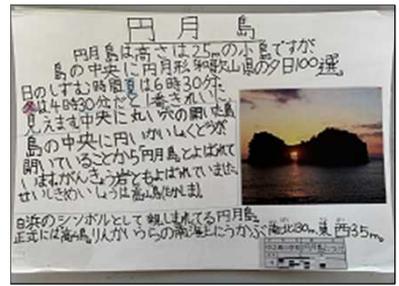
和歌山市立和歌浦小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域にある和歌の浦干潟を題材に、漁協が取り組んでいるアサリの減少を食い止めることについて学んだ。春の潮干狩りから始まって、生き物の観察会などゲストティーチャーを招き、教えてもらいながら自分たちなりにできることはないかを話し合い、提言としてまとめ、みその商店街で行われた「おもしろ環境まつり」で観客を前に発表した。子供たちは活動を通じて、地域の干潟についての愛着を深めた。</p>	
<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「よりよい和歌浦に」というテーマで、地域の課題点を考え、どうなればよいか、そのためにはどのような方法があり、どんな関わり方ができるかを考え、学習に取り組んだ。地域実態調査や地域の人へのインタビュー、作ったポスターの掲示依頼等、快く取組に関わっていただいた。</p>	

和歌山市立木本小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>市役所の方に来ていただいて、地域にある車駕之古址古墳（しゃかのこしこふん）についての詳しい話と、そこで出土された土器や破片、勾玉などの実物を見たり手に取ったりする活動を行った。金の勾玉は日本でもほとんど出土されていないこと等の話を聞き、身近な場所にとっても大切な古墳が地域の人々の願いで残されていることを学んだ。</p>	
-------------------------------	---	---

和歌山市立中之島小学校

<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「和歌山博士」と題し、和歌山出身の人物、名産品、特産品、建造物等から1人1つ取り上げ、自分たちの住む県にはどんなものがあるのかを理解し、関心を深めるために取組を行った。子供たちは、図書室の本やPCを使用して自分たちが選んだものについて調べ、画用紙1枚にまとめてから学級で発表した。自分たちの知らないことがたくさんあり、和歌山への興味・関心が深まった。</p>	
<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「紀の国緑育」の事業の一環で、高野山寺領森林組合の方々と森林の果たす役割と林業について学んだ。事前学習では知識的なこと、林業体験では伐採を体験した。また、森林観察で人工と自然の森の違いを感じ、事後学習で自分たちが切った木を加工した。この活動を通して、和歌山の森林に興味を持つきっかけとなった。</p>	

和歌山市立雑賀小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の和歌浦を教材にし、そこに関わる人々の願いを知り、自分たちが関わることを通してふるさとに対する理解を深め、愛着をもつことをねらいに取組を行った。 和歌浦には、日本遺産にしようとする人、和歌浦をきれいにしようとしている人、盛り上げようとしている人など様々な人が関わっている。子供たちは実際に、和歌浦を探検したり、実際に和歌浦という地域について地元の人はどう思っているのか、修学旅行先で観光客に和歌浦に観光したいのかインタビュー調査をしたりして、様々な考えがあることを知った。自分たちができることについて話し合い、和歌山大学の先生や市役所の人など多くの人に教えてもらいながら「新・和歌の浦十景」や「和歌浦ツアープラン」を作成した。</p>	
<p>5年生 社会科</p>	<p>地域の漁港へ見学に行き、漁の仕方や工夫、漁師の思いや願いを知ることで、水産業の学習をより自分事として考えられるよう、地域の漁港を教材にした。4学級中、2学級は和歌浦漁港、残りの2学級は雑賀崎漁港をとりあげた。各々の漁港の工夫やそこで働く人々の思いについて学んだ。子供たちは、漁港について学びを深めた。学習後も、地域の祭りに参加するなど学びを続けている。</p>	

和歌山市立名草小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>校区内の布引の大根農家に出向き、布引大根の歴史やおいしい大根を作るための工夫や苦労などを学んだ。収穫体験では、一人1本ずつ大根を抜かせていただいた。大きく立派な大根を見て、収穫の喜びを感じた。子供たちは、自分の住む地域でより良い作物を作る人々の工夫や願いに触れ、地域に対する愛着を深めた。</p>	
-------------------------------	---	---

橋本市立柱本小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>ふるさと学習の一環として、柱本出身の著名な数学者である岡潔博士について学習した。橋本市岡潔数学WAVEの佐藤律子氏に來校いただき、絵本の読み聞かせやその生い立ちについて、わかりやすくお話をしていただいた。児童たちは、岡潔博士の「一度決めたら最後までやり抜く」という姿勢に、とても感動していた。また、柱本の町たんけんでは、紀見峠を歩き、大阪府との県境まで山登りをした。その途中で岡潔の石碑などを見た。</p>	
<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>校区内にある「芋谷の棚田」で地域の自然環境保全会の方にお世話になって米作り体験に取り組んだ。6月田植え、8月田の見学、10月稲刈り、そして2月にはお世話になった方を招いて収穫祭を行った。</p> <p>子供たちは、毎日当たり前のように食べている米がどんなにたくさんの手間と時間をかけて作られているのかを知る貴重な体験となった。また、棚田周辺の川や森、そこにいる生き物、そしてそれを大切に守っていかようとしている地域の方がいることなどを改めて知ることができた。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>柱本小学校校区にゆかりのある著名人、数学者の岡潔博士について見識を深める授業を行った。また、その中で、児童が郷土への愛着を深めることをねらいとした。</p> <p>校区探検などで、岡潔博士にゆかりのある場所についての学習を行っているが、詳細に功績や人物について知る機会がなかったため、ふるさと学習という形で授業を構成した。まず、岡潔博士についての調べ学習を行い、疑問に思ったこと、さらに詳細に知りたくなったことなど、児童一人一人が課題をもって、お招きした橋本市岡潔数学WAVEの方からお話を聞いた。</p> <p>児童たちは、岡潔博士の功績だけでなく情緒面や生き方にも感銘を受けていた。また、自分の住んでいる地域に岡潔博士が住んでいたということに誇りをもつことができた。</p>	

橋本市立境原小学校

<p>5・6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域学習の一環として校区内にある「杉尾の巨石」(不動山の巨石)を5・6年生で見学に行った。環境庁によって選ばれた「日本の音風景百選」の一つであるにもかかわらず、行ったことがない児童がほとんどであった。そのため、自分たちの近くにこんなすばらしい所があることを知り、郷土を大切にすることを心深めた。また、この場所(史跡)について地域の方に解説をしていただき、より一層興味をもつことができた。</p>	
---------------------------------	--	---

橋本市立隅田小学校

<p>4年生 社会科</p>	<p>和歌山県の魅力を紹介するために特産品・名所などをグループごとに画用紙にまとめた。「山が多い」というマイナス面が目立っているが、その特性を生かすことで林業や農業が盛んであったり、世界遺産がある素晴らしい土地であったりすることに気付くことができた。</p>	
--------------------	---	---

橋本市立あやの台小学校

6年生 社会科	橋本市の少子高齢化の現状とその対策を調べた。橋本市の予算を広報から調べた。子供たちは橋本市の政治に興味を持ち、市が市民の願いをかなえるためのさまざまな政策を行っていることや、橋本市が住みよいまちであることを学び、感じる事ができた。
------------	---

橋本市立信太小学校

6年生 総合的な 学習の時間	<p>信太の地域の方が作る「味噌」が給食に使われていることを知った。そこで味噌作りを体験してもらい、作っている人とのふれあいを通して、作り手の思いや味噌のよさを知ることがねらいに、取組を行った。</p> <p>1日目：蒸した米に種こうじを混ぜ、発酵機に入れ保温大豆を3倍の水につける。</p> <p>2日目：米のかたまりをほぐし混ぜる。大豆を煮る。</p> <p>3日目：冷ました米に塩を混ぜる。大豆を冷ましてつぶす。</p> <p>米と大豆をこうじに混ぜ、桶に詰め、落しふたと重石をして涼しいところで夏まで保管する。</p> <p>地域の方の協力のおかげで、添加物を一切使わない味噌を仕込むことができた。子供たちは、味噌作りを通して食生活と地域の方々との関わりを深め、改めてふるさとに対する愛着を深めた。</p>	
----------------------	---	---

橋本市立応其小学校

3年生 総合的な 学習の時間	<p>校区内にある小田神社に昔から伝わる「小田神楽」について学習し、小田神楽保存会の方から歴史や舞について教わった。子供たちは、本校でのふるさと学習発表会や小田神社の秋祭りで、笛や太鼓、かねを使って演奏し、手作りした獅子頭で舞を奉納した。</p>	
----------------------	---	--

九度山町立九度山小学校

6年生 総合的な 学習の時間	<p>「高野紙（古沢紙）」の伝統文化と技術を伝える体験資料館である紙遊苑で紙漉きを体験した。漉いた紙は自分の卒業証書として活用する。</p> <p>また、まちなかにある真田紐工房（真田の抜け穴伝説の近くにある木造平屋の古民家）で「真田紐」づくりも体験した。</p> <p>地域の方に指導していただきながら、昔から伝わる技法を用いての体験を通して、九度山町への愛着を深めた。</p>	
3年生 総合的な 学習の時間	<p>九度山町の名産である柿を教材として取り上げ、柿の葉茶、柿料理体験、柿づくり、収穫などを体験した。</p> <p>柿農家の工夫や努力・苦労について学びながら、地域の風景や産業にふれることができた。</p> <p>子供たちはこれらの体験を通して地域の多くの方々に関わっていただき、その温かさにもふれるとともに、ふるさと九度山町について新しい発見をすることができた。</p>	

高野町立高野山小学校

<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>高野山内の名産品を扱う店での体験や名所を調べ、案内することを通して、高野山文化に携わる人々の思いや努力を知り、ふるさとに対する理解を深め、高野山に対して愛着をもったり、良さに改めて気づいたりできるようにねらいをもって取り組んだ。</p> <p>高野山内にある胡麻豆腐、笹巻あんぷ、飾り菓子、精進料理など高野山独自の文化から生まれた名産品や寺などの宗教的な建造物について調べ、和歌山大学教育学部附属小学校の児童を案内し、ともに体験した。児童は「高野山のことを好きになってもらうこと」「仲良くなること」をめあてとして取り組んだ。子供たちは、交流を通して知っていたことや知らないことを改めて学び、ふるさとに対する愛着を深めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
-------------------------------	---

紀の川市立粉河小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>「粉河祭りから見てきた町の歴史」をテーマに、ふるさととの再発見学習に取り組んだ。その中で、地域の方々から粉河寺、粉河祭りについて話を聞く機会を設け、粉河の外から見た歴史を学んだ。さらに、地域を探検したり資料を読んだりして地域の歴史について学び、グループでまとめた内容を発表会において伝え合った。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
-------------------------------	---

紀の川市立東貴志小学校

<p>4年生 社会科</p>	<p>「地域の発展につくした人」ということで、華岡青洲、大畑才蔵を例に取り上げ、先人の働きや苦心を理解し、地域社会に対する誇りと愛情を育てることをねらいとして学習に取り組んだ。青洲の里、小田井用水を実際に見学することで、先人を身近に感じることができ、興味・関心が高まった。そして、当時の地域の様子やできごと、先人の思いや努力を理解することができた。児童は、見学して得た知識をもとに、さらに自分が調べてみたいことを資料などを使って調べ、まとめたことを発表することができた。児童は、身近なところにこんな立派な人がいたことに驚き、自分たちも頑張ろうという気持ちをもつことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--------------------	---

海南市立亀川小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>身近にある亀の川に目を向け、自然とふれあうことをねらいとして取り組んだ。県立博物館から学芸員を講師として招き、一緒に亀の川へ行き、川の生き物を捕りながら生き物の詳しい生態や飼い方等を教えていただいた。地元の亀の川の生き物とふれあうことを通して、自然や環境に目を向けていくきっかけとなった。</p>	
-------------------------------	---	---

海南市立中野上小学校

<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>学校近くに「佐々の井」の碑がある。南野上公民館長を講師として招聘し、井澤弥惣兵衛についての講話を聞いた。その後、碑の清掃を行った。子供たちは、井澤弥惣兵衛の業績の偉大さを感じ、そのような人が自分たちの校区で生まれたということに誇りをもち、愛着を深めた。</p>	
-------------------------------	---	---

海南市立大東小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の防災士の方や危機管理課の方との活動を通し、災害に際し、自分自身の安全だけでなく、周りの人の安全にも配慮する大切さに気づくこと、地域の防災マップで学習する中で、地域の防災上の課題を探ること、学習したことを新聞にまとめ、下級生や地域の方々に発信することをねらいとした単元を設定した。</p>	
-------------------------------	---	--

みなべ町立岩代小学校

<p>全校 総合的な 学習の時間等</p>	<p>地域の産業である梅を教材にし、調べ学習を学年別に行ったり、梅干し作り体験を全校縦割り班で行ったりした。体験活動にはJA岩代出張所長を講師として招聘した。</p> <p>梅干し作りの体験活動をすることで地域の特産物を知る良い機会であり、全校縦割り班で行うことにより、高学年がリーダーシップをとり、低・中学年の面倒をみることで自主的活動を行う機会となっている。また、毎年梅干しをお世話になった方々や被災地に送っている。</p> <p>一昨年度からは、新潟県南魚沼市立第二上田小学校と「こしひかり」と「梅」の交流も行っている。今年度は第二上田小6年生と本校6年生が東京で、お互いの地域や学校の紹介、こしひかりや梅干し作りの体験活動の様子等の調べ学習の成果をプレゼンテーションした。また、梅干しやお米の販売も行った。</p>	
-------------------------------	---	---

印南町立切目小学校

<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>和歌山県のジャンボ地図を模造紙で作成し、市町村の特色を調べたものを書き込み、その土地で有名なものをおさえる学習をした。ジャンボ地図の作成の際、郡が7つあることを知ったり、地名や場所、大きさなどについても考えたりすることができた。各地の有名なものを調べる学習では、その地域をより身近に感じることができた。</p>	
<p>6年生 国語科</p>	<p>国語の教材「ようこそ、私達の町へ」を元に総合的な学習の時間とリンクし、自分たちの町のパンフレットを作成した。自分たちの町の特徴や産業、観光地、歴史などを各自テーマを設定し、調べ学習を行った。地域の人に聞いたり、パソコンや町の資料（学校で作成したもの）を活用したり、実際に現地に行ったりしながら調べ学習を行った。その後、その内容を思い思いのパンフレットに図や表、文などで表現し、発表し合い、地域の良さを再確認した。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>自分たちの地域の防災マップを作成した。各地区ごとのグループに分かれ、地域の地図をかき、避難経路や避難場所、気をつけること、標識（海拔避難場所などを示したもの）を調べて地図に書き込んだり、全校児童の家を記入し避難場所までの時間等、防災上大切なこと等を調べたり、話し合ったりしながら、防災マップを作成し、全校児童の前で発表した。</p>	

田辺市立芳養小学校

<p>5・6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>5、6年生の2年間を通して、校区内にある「熊野古道」に関わる王子跡や遺跡等の現地学習を行ったり調べたりすることを通して、地域（ふるさと）に対する理解を深め、愛情をもつことをねらいに取組を行った。</p> <p>5年生では、資料調べや現地での見学等から学んだことをグループでまとめ、相互に発表を行った。6年生では、前年度までの学習のまとめとして5年生に語りをしたり、内容をさらにつけ加えたりし、最終的に自分のものとして語れるよう学習を深めた。発展的に、校区のみならず「熊野古道」全般に対する理解を広げることができた。</p>	
<p>全校 特別活動</p>	<p>校区にある大神社（芳養王子）の例大祭で奉納される「獅子舞」を芳養青年団の方々に舞っていただき、全校で鑑賞した。子ども獅子舞団の児童もお囃子や笛・太鼓で参加した。青年団の方から、獅子舞の由来や舞の内容について説明していただいた。低学年児童は獅子舞の舞を絵画に表した。また6年生は、夏と秋の2回「子ども御輿」を担いで地域内を回る体験も行った。地域に伝わる伝統行事に触れ、体験することで地域の方々とのふれあいの機会ともなり、より地域への愛着を深めることができた。</p>	

田辺市立本宮小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>熊野古道の語り部ジュニアとして、地域の語り部の方から指導していただき、歴史的な知識はもちろん、自然豊かな本宮に愛着がもてるよう取り組んだ。ただ語るのではなく、安全確認など一人の語り部としての育成を目指している。子供たちが、大人になった時に、語り部活動を思い出し、郷土に誇りと愛着がもてる手立ての一つとして考えている。</p> <p>本宮に伝わる郷土料理を地域の方に教えていただきながら一緒に作った。地域の方と交流しながらおいしくいただき、地域の食について学ぶことができた。</p> <p>運動会で披露する地域に伝わる伝統芸能を指導していただき、伝統を伝えていく担い手の育成を目指している。</p>	
-------------------------------	---	---

田辺市立新庄小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域に伝わる「祇園祭」を通して、地域の文化にふれる学習を行った。この祭りは、夜見世として家の軒先に、野菜などを材料に作った飾り物をかざるものである。本校では、毎年3年生が参観日に地域の方から作り方を教えていただき、保護者と一緒に作品を作り、かざっている。この取組で、地域の行事を身近に感じ、地域を愛する心を育てることができた。子供だけでなく、こうした機会に保護者も地域に触れるよい機会となっている。</p>	
-------------------------------	--	--

田辺市立近野小学校

<p>全校 特別活動</p>	<p>県指定無形文化財『野中の獅子舞』の歴史やお囃子等を地域の獅子舞団の方々から学んだ。この活動は、今年度で10年目となっている。地域の方から学ぶ中で、伝統文化を大切に継承していこうとする態度を養うこと、地域行事に参加し感謝の気持ちを表すとともに地域の振興に貢献することで達成感を味わわせること、ひいては郷土愛の醸成につなげることをねらいとして取り組んでいる。</p> <p>この取組の中で、高学年の子供たちが自主的に「地域の先輩」として下学年の子供たちを教え始めた。地域の方と同じように優しく、そして継承への熱意をもって伝えようとしている。</p>	
--------------------	---	---

田辺市立鮎川小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>校区に世界遺産である熊野古道が通っていることもあり、「語り部」として地域のことを伝える学習に取り組んだ。1学期は鮎川地区の史跡、2学期は富里地区を巡り、地域のゲストティーチャーに教えていただいた。3学期は語り部の原稿を自分たちで作成し、発表会を行った。また、後輩につないでいくという意味をこめて、5年生に聞いてもらう機会をもった。語り部学習を通してふるさとの良さを知り、より理解が深められた。</p>	
-------------------------------	---	---

田辺市立三里小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>熊野古道にかかわる史跡等について調べ、他校の児童に語る語り部活動を実施している。</p> <p>この学習を実施するにあたり、地域の熊野古道語り部の会のみなさんから、現地でレクチャーを受けたり世界遺産センターで世界遺産についての概論を学んだりしながら語り部の基礎学習を行っている。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>5年生時に学んだことをベースに、5年生をリードしながら語り部活動を行った。6月には名古屋にある南山大学附属小学校の5年生（99名）に語り部を行った。語る場所は、発心門より伏拝王子までの範囲で、グループで語り部を行った。また、このほかにも、8月に平泉町との交流活動において、平泉町の小学生やスタッフに熊野古道を案内し、語り部の活動を行った。</p>	

田辺市立長野小学校

<p>1年生 生活科</p>	<p>1年生は生活科の学習でふるさと学習を進めた。町たんけんに出かけ、自然豊かで梅やみかん栽培が盛んである長野の地域の特徴について知ることができた。地域にある施設や店を訪問し、地域の方々から苦勞や工夫していることなどのお話をうかがうことができた。田植え体験や地域遠足にも参加し、地域の方々と交流することができた。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>5、6年生の複式授業で地域の歴史について調べて、語りができるようにまとめ、学習発表会で語りを披露し、ふるさとに対する理解を深めることができた。地域の方々の協力を得て、不動寺の歴史や長野地区に伝わる那須与一の伝説についても知ることができた。地域遠足では長野の旧跡を見学しながら長野地区が設定して管理している登山道を歩いた。地域の方々と交流し、地域のよさについて知る機会となった。</p>	
<p>全校 特別活動</p>	<p>公民館と長野郷明会の協力を得て、全校で「ほたる学習」に取り組んだ。ホタルを通して町の活性化を進めている地域の方々の苦勞や熱い思いを知ることができた。実際にホタルを飼育している現場も見学し、児童も地域の一員として自分たちにできることを考え、ホタルのえさであるカワニナを増殖させるため、カワニナのえさ作りの計画を立てた。地域の方に教えていただきながら、みそと米ぬかを使い、みそだんごを作って、長野川に投入した。地域に対する愛着を深めることにつながった。</p>	

田辺市立大坊小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>5、6年生で、地域にある祇園神社を教材にし、その縁起や例祭について調べることを通して、地域の鎮守とそれぞれに対する人々の思いについての理解を深め、ふるさとに愛着をもつことをねらいに取り組んだ。</p> <p>子供たちはこれまで知らなかった祇園神社の縁起や目にするのなかつた例祭の舞台裏について興味をもって調べ学習を進め、祇園神社を大切にしていきたいという思いや、やがては例祭を支える側として役割を果たしていきたいという思いを強めていた。9月に行われた学習発表会で学習の成果を発表し、参観した地域の方々から好評を得た。</p>	
-------------------------------	---	---

田辺市立中山路小学校

<p>5・6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の産業を学び、それに携わる人々の願いや思いについて知ることをねらいとし、取組を行った。森林組合へ見学に行き、木材の競りの様子を見させていただいた。実際に競りが行われている場面を見ることで多くの人が木材に携わっていることがわかった。</p> <p>製材所見学では仕入れた木材の加工の方法や、それぞれの行き先、施設の仕組みなどについて間近で見ることで理解を深めることができた。見学後には学んだことをまとめることができた。</p>	
---------------------------------	---	---

田辺市立上山路小学校

<p>3年生 社会科</p>	<p>地域の方がお持ちの昔のアイロン、蓑、わら草履、あんか、秤、キセルなどをお借りして実際に見た。昔の人の手仕事による道具は、作るのにも使うのにも時間がかかり手入れが大変だと分かった。「昔の暮らし」をテーマに宮代地区に現存する明治14年に建てられた古民家を見学した。藁葺き屋根、土壁、屋号、守り神、大黒柱、土間などを実際に見学した。それらのことをもとに、学習発表会で昔と今を比べながら寸劇風にしたり発表した。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域にあるB29慰霊碑及び慰霊祭を教材にして、そこに関わる人々の想いに迫った。実際にB29が墜落する瞬間を目撃した地域にお住まいの方にお話をうかがい、今も慰霊祭を続けている理由や亡くなった米兵のご家族と交流をもったときの思いなどを知ることができた。教えていただいたことや調べて分かったことをまとめ、学習発表会で地域の方に伝えた。</p>	
<p>1・2年生 生活科</p>	<p>山菜採りをし、地域に自生する山菜の名前を知り、それを調理して味わった。</p> <p>地域の方の茶畑で茶摘みをさせていただいた。お茶の摘み方や自然農法のお茶について教えていただいた。茶葉は学校で、蒸し焼きにする→もむ→干す→煎るの手順で茶づくりをし、その工程を全校に発表した。作ったお茶は、地域の方や保護者にも飲んでいただいた。</p>	

白浜町立安居小学校

<p>全校 総合的な 学習の時間等</p>	<p>総合的な学習の時間での「郷土の民話や偉人を調べよう」の単元で、毎年、郷土の民話・偉人について調べている。本年度は、地域の偉人「鈴木七右衛門」について学習した。「鈴木七右衛門」を紹介したアニメ版DVDを地域の方々と一緒に見て学習した。「鈴木七右衛門」が作った「安居暗渠」の見学会を行い、学習を深めた。さらに、その偉業を劇化し、小中合同文化祭で劇を演じた。身近な地域の先人の偉業・民話に全校児童に関心をもたせることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>全校 総合的な 学習の時間 生活科</p>	<p>総合的な学習の時間及び生活科の時間に位置づけている「安居っ子タイム」の活動として、「鮎の放流体験」「茶摘み体験」など、さまざまな地域体験学習に取り組んだ。鮎の放流をきっかけに、3、4年生では環境問題に発展させ取り組んだ。また、「茶摘み」では、地域の代表的産業を学び、製品作りから販売までを通して、お茶作りに関わる人々の苦労や工夫等を学んだ。これらを通して、地域の歴史、自然、産業を体験的に学び、地域への素晴らしさや地域の伝統や文化、自然に触れ、地域の方々とのふれあいの場を設け、地域を愛する心を育む重要な学習の機会となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

新宮市立高田小学校

<p>その他 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校の所在する地域は、市内中心部から約1.2km離れ、山間部に位置する小さな集落である。また、校区には、清流「高田川」が流れ、山と川というこの上ない自然環境に恵まれた地域である。このような特性を生かし、昔から林業と米づくりを主とした農業がさかんである。そこで、地域の特性とよさを理解し、地域の人とともに体験することによって地域への愛着と誇りを強く感じ取らせるために、4年前から全校活動として「米づくり活動」に取り組んでいる。（中学校とも合同で行っている。）種まきから収穫に至るまで、地域の方の指導や協力支援を得て一連の作業を行い、米として収穫することの大変さを体験するとともに、おいしくできたごはんを味わう喜びを感じていた。また、「昼食会」として米づくり活動にお世話になった人を招待し、改めて感謝の気持ちとふるさとへの愛着を深めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
-------------------------------	--

新宮市立三輪崎小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>日本鯨類研究所の方を招いて、クジラについての出前授業をしていただいた。シロナガスクジラやヒゲクジラの特徴、生態について詳しく教えていただいた。実際の体の骨や歯なども提示してもらったり、実寸のクジラのコピーも出していたので、子供たちは興味をもって学習に取り組み、活発に質問していた。太地町の捕鯨の話もしていただき、近隣地域の産業にも触れることができた。</p>	
-------------------------------	--	---

那智勝浦町立勝浦小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>5年生社会科で、日本の水産業について学習した。そこで、我が町那智勝浦町のマグロを中心とした水産業を詳しく調べる取組を行った。勝浦漁港の見学では、実際に水揚げされたマグロや魚を見たり、仲買人の入札の仕組みを見ることができた。また、地元の活性化をはかる脇仲倶楽部の方から、延縄漁の良さやマグロの町勝浦の歴史を学び、漁具店では、マグロ専門のしかけなどを教えてもらった。子供たちは、この学習を通して、ふるさと勝浦に対する誇りと愛する心を深めることができた。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>自分たちの育った町について、自慢できるところや町の特徴を観光客の方にPRする「町おこし」を行った。地域の方への取材活動や調べ学習を通して自分のふるさとの良さを再認識し、ふるさとへの愛着を深めた。また、自分たちの活動を地域にPRすることで地域の活性化を図った。</p>	

那智勝浦町立下里小学校

<p>3年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の自然や文化財を教材にし、そこに関わる人々の思いを知り、ふるさとに対する理解を深め、愛着をもつことをねらいとして取組を行った。 児童たちは、日本一短い川であるぶつぶつ川やふところ山、懸泉堂（佐藤春夫の両親の生家）、下里神社など地域に残る財産を見学に行き、調べた。その調べ学習をもとに地域の方に由来や伝えられているお話を伺った。そして、自分たちができることとして、ぶつぶつ川の看板を製作し、設置した。これらの活動を通して、児童は地域の良さに気づき、ふるさとに対する愛着を深めた。</p>	
<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の海岸にウミガメが産卵に来ることや地元の保護団体が長年行っているウミガメの保護活動から、ふるさとの自然環境や人々の思いに対する理解を深め、進んで環境を守る態度の育成をねらいに取り組んでいる。 学習活動で児童たちは、ウミガメの産卵のために、大浜海岸の清掃、ふ化場の整備を行った。また、今年度は6匹のウミガメを学校で飼育した。5年生が中心になり、えさやり・水替え・水槽の掃除を交代で行った。その活動を通して、ウミガメの成長を新聞にまとめ、全校児童に紹介した。今後もウミガメの観察を行い、ウミガメの生存に関わる問題などについても考えていきたい。</p>	

那智勝浦町立市野々小学校

<p>全校 1・2年生 特別活動 3～6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>校区内の地域遺産である世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に目を向け、ふるさとについて学び、ふるさとに誇りをもち、次世代に引き継ごうとする心情を育む取組として、国の重要無形民俗文化財に指定されている熊野那智大社例大祭「那智の扇祭り」に参加・見学した。</p> <p>大祭前に、3年生以上の児童が熊野那智大社を訪れ事前学習を行った。当日は、全児童が、境内で扇神輿や大松明の見学、大和舞や国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産である那智田楽を見学した。また、全国的にも有名な「那智の扇祭り(火祭り)」を見学した。地域の祭りへの参加・見学を通して、郷土に対する誇りを育んだ。</p>	
<p>全校 1・2年生 特別活動 3～6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>校区内の地域遺産である世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に目を向け、ふるさとについて学び、学習したことを発信していくことで、ふるさとに誇りをもち、次世代に引き継ごうとする心情を育む取組として、那智山で毎年行われるイベント「あげいん熊野詣」に参加した。当日は、全児童と保護者が参加し、熊野古道を歩いた。5・6年生は平安衣装をまとして参加し、参加者に熊野那智大社や青岸渡寺、那智の滝、大門坂・熊野古道についてふるさと学習で調べたことを発表した。3・4年生は参加者にインタビューし、1・2年生は民宿組合の方々と共にお茶のおもてなしを行った。地域の行事に参加することや発信する経験を通して、改めて郷土に対する誇りと自信を育て、愛着を深めた。</p>	
<p>1・2年生 生活科</p>	<p>校区内の地域遺産である世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に目を向け、ふるさとについて学び、ふるさとに誇りをもち次世代に引き継ごうとする心情を育む取組として、熊野那智大社と青岸渡寺を訪れ、「節分祭」について学習した。神社と寺それぞれの鬼の捉え方や節分に対する思いを学習し、それを生かして「1・2年豆まき大会」を行った。この学習を通して、ふるさとを知り、興味関心が高まった。</p>	

串本町立橋杭小学校

<p>4・5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>本校では、海に親しみ、海を知り、海を利用する、海を守る、海から身を守るをテーマに全学年で海洋教育に取り組んでいる。その一環として、4、5年生で串本の海でとれる魚を使った調理実習を行った。当日は、食生活改善推進委員会の方々に来ていただき、アジと野菜の天ぷら、豚汁の作り方を教えてもらいながら一緒に作り、食べた。子供たちは、海の恵みを感じ、改めて海を大切にしていこうという気持ちをもった。</p>	
---------------------------------	---	---

串本町立古座小学校

<p>全校 総合的な 学習の時間等</p>	<p>地域に伝わる祭り「河内祭り」について、地域の方に協力を得て学習を行った。</p> <p>①地域の方をゲストティチャーに迎え、お話を伺った。</p> <p>②高学年は、地域の保存会の方々に祭りの太鼓や鐘等のお囃子を指導していただき、祭りで披露した。</p> <p>③3年生は、祭りの話をもとに絵本を作り、校内に設置した。</p> <p>④5年生は、祭りの話をもとに全校集会で発表を行い、その後、祭りで使う飾りを全校児童で作った。</p> <p>また、5年生は「河内祭り」をもとに探究課題を設定し、個々が調べたいこと・知りたいことを「わかやま何でも帳」や「わかやま発見」、図書館の本等を活用し調べた。取組内容を参観日において中間発表し、保護者から好評を得た。一連の活動を通して子供たちは、保存会や地域の方々との交流を深めるとともに、地域への愛着を深めた。</p>	 
<p>4年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>串本町古座の名産品である「サメのみりん干し」について、地元の商店の協力を得て、学習を行った。内容としては、</p> <p>①サメのみりん干しが、なぜ古座で作られるようになったのかを知る。</p> <p>②サメのみりん干しの作り方を見学して学ぶ。</p> <p>③サメのみりん干しをみんなに知ってもらうために全校集会和参観日で発表を行う。</p> <p>これらの学習活動を通してふるさとに対する愛着を深めた。</p>	
<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の方とともに近くの山に雁皮（がんび）を採りに行き、それを材料にして卒業証書となる紙を作った。工程は、</p> <p>①雁皮を採って来て皮をむく。</p> <p>②紙の漉き方について話を聞き、紙漉き体験をする。</p> <p>③アイロンをかけて証書のサイズに切断する。</p> <p>である。指導して下さる地域の方とともに「物ができる」、「ふるさとや自然のありがたさ」等について交流を重ね貴重な体験となった。</p>	

串本町立潮岬小学校

<p>6年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>地域の伝統芸能である「岬節」について、岬節保存会の方々を講師としてお招きし、笛や太鼓、歌、踊りを教えていただき、学習発表会（11月）で披露した。子供たちは自分たちの住む地域の伝統芸能に大変興味をもって取り組むことができた。2月には、岬節保存会の方より地域のイベント（芝焼き）への協力依頼があり、6年生全児童が積極的に参加し、保存会の方々とともに岬節の踊り、歌を披露した。</p>	
-------------------------------	--	---

串本町立西向小学校

<p>5年生 総合的な 学習の時間</p>	<p>体験を通して森林及び林業について学び、木材利用の大切さについて理解を深めることをねらいとして取り組んだ。午前中、南紀森林組合において「森林の姿とその機能、森林を育てる林業」について学習し、その後、近くの山に移動して間伐体験を行った。午後には、紀南新緑会の方を招聘してミニベンチの製作に取り組んだ。子供たちは、この体験を通して、林業に携わる方々の思いや仕事への情熱にふれ、木に対して新たな見方や考え方を得られる機会となった。</p>	
-------------------------------	--	---